



日本共産党・前都議会議員 東京民報おりにみ版

そねはじめレポート

2012年2月29日発行 第 34 号

そねはじめ事務所

114-0032

北区中十条2-11-6

Tel: 3907-1135

Fax: 3906-3225

財政力生かし防災・くらし・雇用・地域経済アップを

都議会代表質問

310億円で国保・後期高齢・介護保険料下げられる

28日都議会代表質問で共産党都議団の吉田信夫議員が、石原知事の「アジアの司令塔」めざす「ヘッドクォーター構想」で海外企業を優遇し莫大な開発を進める計画を批判し、都民が一番求める防災と暮らし、雇用重点への転換を求めました。

《開発が少子化・高齢対策の十倍》

都の長期計画では外環道を十年で完成させるなど事業費の34%を開発に投入。ところが高齢対策は4%、少子化は3%程度にすぎません。

吉田都議は第一に防災で、他県に比べ遅れている津波対策、高齢者の多い木造住宅の耐震化、放射線では子どもに影響の大きい低線量内部被爆や都立公園・学校などの測定などを強く訴えました。

《トリプル値上げの抑制を》

医療・介護の負担軽減、特養ホーム、認可保育園に重点を移し、4月の国保・後期高齢・介護の保険料で75歳以上の平均2.3万円値上げを抑えるため310億円で一人5千円の値下げが可能と提案し実施を迫りました。



《3千人の若者正規雇用を》

いま、野田内閣のように不況で苦しむ庶民に消費増税を押しつけければ税収は落ち込むばかりです。

吉田氏は、非正規が数十万人も増えている若者の雇用支援の強化が必要と指摘。未就職でもやる気のある若者に、職業訓練・生活の場を保障し、中小企業への正規雇用を支援する事業を、予算案の千人規模から3倍以上に拡大するよう提案しました。

知事は防災で相変わらず自己責任を強調し福祉にも冷たい答弁でした。



3・11 さよなら原発 in 飛鳥山に みなさんのご参加を

3月11日午後2時からの飛鳥山公園での区民集会が近づいています。

福島原発直近の双葉町から避難してきた福島原発反対で最高裁までたたかった M 夫妻も証言します。原発なくせのうたごえグループも出演？楽しくにぎやかに原発ノーの声を響かせるとともに、東北大震災犠牲者に黙祷をささげ、暮らしの復興に支援の輪を広げましょう。

(左の写真は昨年の7・2集会への北区の参加者)

練馬・光ヶ丘病院問題で共産党都議団が都に具体的支援要請 拠点病院の医療空白生まぬよう医師の派遣も！

病院不足の練馬区で小児医療の拠点病院として頼りにされてきた日大光ヶ丘病院から、赤字などを理由に日大が撤退する問題で区民に不安が広がっており、2月27日には共産党都議団が、地域医療の空白を生まないため、都が都立病院や公社病院の医師の派遣を含めて具体的支援を行うよう強く申し入れました。

光ヶ丘病院は、練馬区医師会が設立に動きましたが挫折し、日大が運営を引き継ぎました。特に小児救急で地域の信頼が厚く、大学本部が撤退を決めた後も住民や医師の中に反対世論が強く紛糾していました。

(写真は昨年10月、光が丘の後継医療法人地域医療振興協会が運営する北社保病院を見学する練馬の党議員団とそね前都議)

都議団の申し入れでは、このままでは深刻な混乱を招くとして、医療空白や医療機能の低下を招かぬよう日大撤退の延期、新たな委託先の地域医療振興協会との共同診療、都立や公社の病院から医師を派遣するなど実効性ある対策を求めました。

都の矢沢医療政策課長は「精一杯医療確保にできることをやります」と答えました。



そねはじめ交友録 《その二十八》 街頭相談で出会ったNさんは欧州の邸宅からドヤ街まで劇的な人生

2008年から9年にかけて日比谷派遣村など日本の貧困層が街頭に劇的に出現した冬、党の都議団も初めて池袋で街頭相談に取り組みました。飛び込みで来たNさんは20年以上海外で暮らし、リーマンショックでスペインの不動産業が破綻し英国人の夫人や子どもと離別して帰国したばかり。古い友人を訪ねる列車の待ち時間で街頭相談を見かけ、時間つぶしに来たようでした。共産党と無縁の人生だけに二度と来ないと思っていたら翌日、携帯が鳴りました。

「いまどき東武の座席指定で来るおまえは浦島太郎だ。今頼るべきはその共産党議員の名刺だと友人からいわれたよ」と語るのと、とにかく一緒に豊島区の生活保護課に行きました。

Nさんは一泊2千円のドヤ街で暮らし赤羽西のアパートに移って北区の生活保護が開始されました。部屋で一緒に何度か飲みましたが、学生時代から自民党代議士の部屋に出入りし裏金の受け渡しも経験。その世話で貿易業を始めて大儲けし、鎌倉の円覚寺に墓地を買い結婚したが飽き足らずに渡米。その後英国、イタリア、スペインと渡り不動産業で豪邸にも住んだが、リーマンショックで全財産を失い、妻にも捨てられ帰国したとのこと。「他の政党は信用できん。しかし共産党は清潔すぎて近寄りがたい」と言い、まだヨーロッパでの巻き返しを夢見ていたNさんは今のユーロ経済危機をどう見ているのでしょうか。

成田からエクスプレスで着いたばかりのNさんと出会った街頭相談。左端が池内さおり、中央がそねはじめ前都議。



